

## 8 防災行政

### (1) 県総合防災訓練の実施

内陸型地震を想定し、市及び防災関係機関と連携した図上訓練を実施。平成20年8月、県庁、大垣市及び関市で開催した。

### (2) 大規模地震対策の推進

平成18年4月に策定した「岐阜県地震防災行動計画（平成18～22年度）」では、「自助・共助・公助」の考えのもとに、県民、事業者、市町村及び県が、それぞれの役割と責務を着実に果たしていくものとしており、以下の事業を実施した。

#### ア 地震防災フォーラムの開催

平成20年10月、岐阜市で開催、参加者約500人。

#### イ 企業向け地震防災講座の開催

県内2カ所で開催。

#### ウ 啓発活動の実施

地震体験車の貸出及び地震体験装置が設置してある広域防災センターの活用を図るとともに、地震対応のマニュアル等を記載した啓発パンフレットを作成し広く一般に配布した。

地震体験者利用状況（過去5年の利用状況）

	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度
利用者数（人）	36,530	27,635	30,841	24,080	24,509

※ 平成20年6月に新しい地震体験車導入

### (3) 地域における「共助」の推進

平成19年7月に発生した新潟県中越沖地震の教訓等を受け、特に地域における防災力強化に関する政策を重点として、以下の事業を実施した。

#### ア 防災運動会開催の促進

地域の運動会に防災の視点を取り入れた新しい地域防災力向上のイベントを開催し、幅広い世代の人々の防災活動の取組を促進。平成20年8月、海津市総合防災訓練の一部に防災運動会として3種目の競技を実施。

#### イ 自主防災組織活性化研修の実施

地域防災力の向上を図るため、自主防災組織のリーダー等を対象として、自主防災組織の活動の先進事例等を学ぶ研修を実施。平成20年11月、関市で実施、参加者140人。

#### ウ 災害図上訓練の指導者養成研修の実施

住んでいる地域の過去の災害発生場所や危険箇所のほか、避難所や要援護者の確認など、地域の防災に関する重要な情報を地域で共有する訓練を促進。平成20年7月、海津市と土岐市で実施、参加者163人。

### (4) ボランティア活動の活性化

災害時のボランティアを育成するため、災害ボランティアコーディネーター養成研修を実施した。

平成20年9月、10月、11月、多治見市及び高山市で実施、参加者212人。

### (5) 局地的豪雨対策の推進

平成20年8月末～9月初めの局地的豪雨の反省を踏まえ、「局地的豪雨検討会議」を開催し、被害が特に大きかった岐阜市、垂井町及び揖斐川町の「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」を作成した。